



黒川内閣特別顧問



岸田大臣



仲井眞知事

県知事主催の歓迎レセプションがG8科学技術大臣会合前の六月十四日に、恩納村内のリゾートホテルで開かれました。

仲井眞知事は同会合に出席する各国代表団や地元関係者など約百五十人の出席者を前に英語であいさつし、続いて乾杯のあいさつを黒川清内閣特別顧問が行いました。

県知事主催歓迎レセプション



古典舞踊

議長国代表としてあいさつした岸田科学技術政策担当大臣は、「地球規模の課題を解決する鍵は科学技術にある。我々が科学技術について議論し、その成果を七月の洞爺湖サミットに結び付けたい」と述べました。

会場では県産食材を使用した琉球料理やアトラクション「ダイナミック琉球」などにより、各国大臣等には、本会合の前にリラックスしていただきました。

また、レセプション前には各国大臣等と沖縄科学技術研究基盤整備機構の関係者との交流が行われ、開学に向け準備が進められている沖縄科学技術大学院大学を各国大臣等に認知していただく良い機会となりました。



フォーラム(大臣と生徒との交流)



ロボットの組立実験

わたしたちがはじめる地球の未来「サイロ地球塾2008」未来へつなぐサイ・エンス&エコ・ロジー

会合翌日の六月十六日には、県立博物館・美術館において大臣会合参加者や県内の小中高生が参加した科学実験体験やフォーラムが行われました。

科学実験体験では、小学生が、ライントレーサー(黒い線をたどる)ロボットの組立やニワトリのレバーからDNAを取り出す実験、発泡スチロールのリサイクル実験などを行い、その原理を学びました。

「世界の問題と科学技術」をテーマとしたフォーラムでは、科学技術による環境問題解決についての講演があり、参加した生徒達は、世界を救う鍵の一つが科学技術であることを感じたことでしょう。

フォーラムでは、岸田科学技術



科学作品展見学

政策担当大臣、アラバストロ科学技術省長官(フィリピン)他、会合の参加者、アメリカ総領事と県内の中・高校生との対話が行われ、クリーンエネルギーなどについて意見交換がなされました。そのほか、会場では、水圧実験、長嶺中学校生徒が製作したソーラーカーや県内生徒達の科学作品の展示、燃料電池バスや電気自動車等の試乗も行われました。

県では、今回のようなイベントを通して、学者、科学技術者の底辺拡大に努め、活力ある自立型経済の構築を科学技術の振興によって推進していきたいと考えています。

G8科学技術大臣会合

北海道洞爺湖サミットに先立ち、平成20年6月15日、名護市の万国津梁館で、初のG8科学技術大臣会合が開催されました。

会合では、G8及び招へい国の十五ヵ国及びEUの科学技術担当大臣等が一堂に会し、「地球規模の課題解決に向けた国際協力による取り組み(低炭素社会の実現に向けた研究開発)」、「アフリカ等の開発途上国との科学技術協力」「研究開発リソースにおける協力」について議論されました。

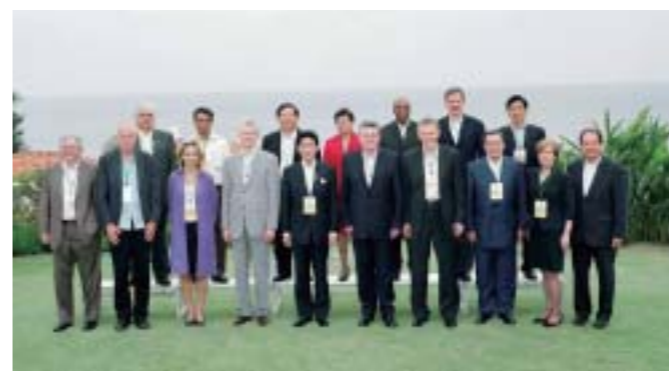


本会合の結果 (議長総括の概要)

- ① 地球規模の課題解決に向けた国際協力による取り組み(低炭素社会の実現のための研究開発)
- ② 開発途上国との科学技術協力
- ③ 研究開発のリソースに関する協力

我々は、大規模研究施設の国際的共同利用の促進や重複投資の回避を目的として、各国の既存施設や将来計画の情報交換を行うG8とその他の国の高級事務レベル会合を設けることを合意した。

今後の予定として、日本が今回の課題に関する各国の政策やプログラム情報を取りまとめることを提案、来年のサミット議長国であるイタリアが第二回会合の開催を表明し歓迎されました。



各大臣記念写真

お問い合わせ【県科学技術振興課】 TEL.098-866-2560 FAX.098-866-2799

